

報道関係各位  
プレスリリース

2019年2月7日

## 単位が変わると社会が変わる—新しいキログラムの基準がもたらすもの

2019年5月20日、私たちにとって身近な単位の一つ、「キログラム」の定義が約130年ぶりに改定されます。

家庭にある体重計、薬剤師が薬を調合する精密なはかり、鉄鉱石や原油などの輸出入に関わる大型のはかりに至るまで、世界中の質量にまつわる継続の基準のすべては、白金とイリジウム合金で作られた「国際キログラム原器」が基準となっています。キログラムの基準は誰がどのように決めたのでしょうか。どのような仕組みで世界中どこでも、100年前も今も変わらず維持できているのでしょうか。

21世紀の現代においても唯一人工物によって定義されているこのキログラムは、今後自然界が支配するいくつかの「定数」を使って定義することになります。定義を改定する意義、そしてそれにどのような意味があり、今後私たちの生活にどのような変化が起きるのか——。「変わらない基準のために変える」。単位の起源と進化、それに関わる研究者たちの挑戦を産業技術総合研究所 計量標準総合センター長の臼田先生が紹介します。



現在のキログラムの基準  
(国際キログラム原器)  
Courtesy of the BIPM

**講師** 臼田 孝 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター長)

1987年 東京工業大学大学院修士課程修了、2000年 東京工業大学博士(工学)取得。1990年 通産省工業技術院計量研究所(現産業技術総合研究所)入所。ドイツ物理工学研究所(PTB)招聘研究員(1998-99年)、フランス国立科学研究センター(CNRS)招聘研究員(2000-01年)、国際度量衡局(BIPM)招聘研究員(2010-11年)。第43回市村学術貢献賞受賞(2010年)。2012年より国際度量衡委員。2017年4月より産総研計量標準総合センター長。

### 開催概要

- 日時：2019年2月28日(木) 19:00~20:30 (18:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)いずれかにて、  
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/